

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： DATSURYOKU：マルチレベルな介入による運動スキル獲得支援の実現

2. 個人研究者名

村井 昭彦（産業技術総合研究所人間拡張研究センター 研究チーム長）

3. 事後評価結果

本研究では、緊張による無意識な筋の過度な活動を抑止するために、「うまく力を抜くこと（DATSURYOKU）によるスキル獲得支援技術」の開発を目指した。

成果として、日常的筋状態計測（24 時間計測を実現する DATSURYOKU センサ）を構築することにより、環境の運動力学的制御（インタラクションデザイン）による筋脱力を実現した。また、筋を軸としたインタラクションデザインのコンセプトを確立した。

結果として、筋肉を脱力させるために、デバイス開発レベルから行っている点が評価できる。また、筋肉の状態を継続的に計測し、これまでにない人の状態把握のモーダリティが得られ、健康医療などの応用に展開可能な研究であると考えられる。

今後の活動として、筋肉の状態と健康・心理状態との相関の解明や、健康や医療への応用に発展させてほしい。